

第6期 麻生区区民会議 第5回全体会議

- 1 開催日時 平成29年11月21日（火）午後3時～午後3時53分
- 2 開催場所 麻生区役所第1会議室
- 3 出席者 [委員]
安藤委員、石井委員、植木委員、海崎委員、佐藤委員、佐野委員、
菅野委員、鈴木（昭）委員、鈴木（隆）委員、関根委員、高倉委員、
高橋委員、長岡委員、橋本委員、林委員、松田（基）委員、
松田（通）委員、吉垣委員
(欠席) 緒方委員
[参与]
石川参与
(欠席) 雨笠参与、老沼参与、勝又参与、木庭参与、月本参与、花輪参与、
山崎参与、相原参与
[事務局]
安藤課長、福島担当係長、西倉、長瀬、榎本
[関係者]
北沢区長、山口副区長、長谷川区民サービス部長、
若尾保健福祉センター所長、猪又保健福祉センター副所長、
佐藤保健福祉センター担当部長、太田道路公園センター所長、
吉澤危機管理担当課長、中村地域振興課長、三枝生涯学習支援課長
(欠席) 井上総務課長
- 4 傍聴者 1人

第5回麻生区区民会議

日 時 平成29年11月21日（火）

午後3時から

場 所 麻生区役所第1会議室

午後3時開会

1 開 会

植木委員長 皆さん、こんにちは。ここ数日大変寒い日が続いております、私もちょっと風邪を引いたりしておりましたけれども、委員の皆様はいろいろな活動をされておりますので、年末にかけて公私にわたって大変お忙しいと思いますけれども、ひとつ体に気をつけて頑張っていたいただければと思っております。

また、この区民会議も大分差し迫ってまいりまして、そろそろ各部会も大詰めに入ってきたのではないかと思っております。きょうはそこら辺につきまして各部会の方からご説明いただくとともに、皆さんでいろいろアドバイスをしていただければと感じておりますので、よろしく願い申し上げます。

2 議 事

植木委員長 それではまず、事務局より本日の議事並びに資料につきましてご確認をお願いしたいと思います。

事務局 それでは、事務局から配付資料の確認をさせていただきます。

一番上に本日の会議の次第がございます。次に、資料1として席次表、資料2として第6期麻生区区民会議委員・参与名簿、資料3として麻生区の魅力の発掘・発信検討部会の調査審議状況、A3の書類でございます。資料4として、同じくA3で市民活動・絆づくり部会の調査審議状況、資料5として区民会議ニュースVol. 3でございます。また、参考資料1として第6期麻生区区民会議スケジュール、参考資料2として平成29年度区民会議委員意見交換会の開催について、資料3として第4回麻生区区民会議議事録となっております。

以上の資料にご不足がございましたら、事務局までお知らせください。よろしいでしょうか。

次に、本日の議事について確認をさせていただきます。次第をご覧ください。2の議事といたしまして、本日は次の点のご審議をお願いいたします。第6期麻生区区民会議調査・審議課題等についてとなります。

なお、本日、区長が公務の都合上、議事の進行によりましては途中退席をさせていただきます可能性がございます。申し訳ございませんが、ご了承をお願いいたします。

それでは、よろしく願いいたします。

(1) 第6期麻生区区民会議調査・審議課題等について

ア 麻生区の魅力発掘・発信検討部会の検討経過及び意見交換について

植木委員長 それでは早速、議事の1、第6期麻生区区民会議調査・審議課題等について
に入りたいと思います。

まず、アの麻生区の魅力発掘・発信検討部会の検討経過及び意見交換をしたいと思
います。林部会長、お願いいたします。

林副委員長 ご指名いただきました林でございます。麻生区の魅力の発掘・発信検討部会
の審議経過をご報告申し上げます。まず、前提といたしまして、確認なのですけれど
も、これまで、前回の全体会でもご報告申し上げたような審議内容について2点確認
させていただきます。

まず、魅力発信の目的・対象につきましては、若い世代がこれからも麻生区に住み
続けてほしいということで、麻生区に住む子育て世代を対象とすること、その方々に
区の魅力を伝えること、そして、その子育て世代のうち、親と子の両方に伝わりやす
く、より効果的に発信できるように、小学生を持つ子育て世代を中心に考えていくと
いうことで審議を進めております。

また、審議テーマは、「ふるさと麻生づくり ～愛着と誇りの醸成～」ということ
で、子育て世代でも、特に新しく住み始めた子育て世代が麻生区をふるさととして感
じてもらえるような魅力を発信していきたいということで、住み続けてもらうような
魅力の発信の仕方を考えていきたいなということで進めているということを前回ご報
告させていただいております。

この方向性を確認した上で、麻生区の魅力、魅力の発信方法、発信場所について部
会で検討を進めまして、その検討内容が本当に子育て世代の感性にマッチしているの
だろうかということで、あさお子育てフェスタが9月16日に開催されまして、そち
らでこの3点、麻生区の魅力について私たちはこう考えますけれども、皆さん、いか
がでしょうか、魅力の発信方法については、どのように発信したら皆さんは受け取り
やすいでしょうか、発信場所については、どういうところに発信の媒体を置いたら届
きやすいでしょうかといったことをヒアリングさせていただいております。

回答者数は、151人の方にお答えいただくことができました。問1としまして
は、私たち部会で選定いたしました「自然と農」、「芸術」、「市民活動」が大きな魅力
の3つの柱ではないかと審議を進めておりましたが、この3項が本当に子育て世代の
方々の感性にマッチしているかどうかということでお聞きしております。3番目の「市民活
動」につきましては、前項の「自然と農」、「芸術」の2つの支え手という意味合いも
ありますので、あえてヒアリング調査にしたということもあります。まず、「自然と
農」、「芸術」について聞きながら、その支え手が「市民活動」なんですよ、ご存じで
したかというような形で、誘導のようにはなってしまうのですけれども、市民

活動が盛んだということを知っていただいた上で、それも魅力と数えていいだろうかというような尋ね方をしております。結果は、そちらにありますように、圧倒的に「自然と農」、「芸術のまち」を支持してくださる方が多く、また「市民活動が盛ん」にもご支持を高く得ることができまして、皆さんの感性と大きな違いはなかったかなと思われまます。

2番目に、それでは、そういった魅力を調べる前の段階として、自分で調べてみる前の段階として、どのようなところに情報があればご自身の手元に届くと思えますかということで、一番最初に気づく場所はどこでしょうという意味でお尋ねしております。それが発信方法のお尋ねの仕方なのですけれども、そちらに書いてあるように、自宅に直接届くもの、例えば市政だよりであるとか、マイタウンなどのような地域情報誌、新聞の地域面、それから学校、保育園などで配布されるチラシに多くお答えをいただいております。家庭に持ち込まれる情報の方が接しやすい、かつ信頼度が高いのではないかと私どもでは分析しております。また、市や区のホームページ、SNS・アプリは、かなりの数の方にお答えいただいているのですけれども、私どもの部会の目的としましては、そこに至るまでの過程と考えております。やはり紙媒体のほうが手元に置いていつでも見られるという点が好まれるのではないかと、そして、ふと気がついたときに調べるという行動に入れるのではないかと分析しております。

そして、発信場所についてですけれども、こちらにも区役所、市民館といった公共施設、幼稚園、保育園、学校、そういったところから発信される情報の方が受け取りやすい、信頼度も高いと考えております。

このヒアリング結果を踏まえまして、今後の審議内容と書いてありますけれども、前回かなりお話し合いした部分もありますので、その点についてご報告させていただきます。まず、今検討している課題は、魅力をさらにブラッシュアップすること、そして発信方法、発信場所をさらに精査していくこと、発信主体をどのように考えていくかという、この3点を話し合っております。

麻生区の魅力につきましては、文章的にもかなりブラッシュアップされてきているかなと思っておりますけれども、3点、皆さんにご支持をいただきました「自然と農」、「芸術・文化」、「市民活動が身近に感じられる麻生区」ということで、「都心近くの自然と農が残るまち」として、懐かしい里の風景が残って、いつでも地元産新鮮野菜を食べることができますよということ。

そして、「芸術・文化のまち」では、身近なところで本物の芸術や文化に触れられたり、体験して楽しむことができるということを前面に出し、また、昭和音大や日本映画大学などがあって、アーティストを目指す人たちがたくさん集まっているまちで、直接芸術・文化に触れ合える機会もたくさんあるということを打ち出しております。

そして、「市民活動が盛んなまち」では、「他区に比べて」という前置きがあります

けれども、市民活動団体が多くて、ボランティア・市民活動が盛んなまちであること、緑が多く残っていること、芸術にかかわる取り組みが盛んなのも、それを支える市民活動によるところが大きいということをお伝えしたいと考えております。そして、市民のまちづくり参加への意識が高いということから、地域交流イベントなど市民活動が支え手となつて行われているさまざまな活動があることもお伝えしていきたいと考えておりますので、本当に住民同士が支え合う、住みやすいまちと言えるということの魅力として結んでおります。

それから、「魅力を身近に感じ、参加できるまち」ということで、前回の全体会で関根委員からご意見をいただきましたように、安全で安心なまちであることは前提ということを引きついで加えております。ですので、安全で安心なまちであることに加えということ、さまざまな魅力が身近にあり、誰もが参加・体験できるので、皆さんも参加しませんかというお誘いにつなげていきたいと思ひ、そういったさまざまな地域活動、イベントにご参加いただくことで麻生区をよく知っていただいて、住み続けることにつながればいいかなというふうに進めております。

(2)の発信方法についてですけれども、紙媒体の方が手元に置いておきやすいというヒアリング結果を踏まえまして、私どもの部会では、冊子やチラシなどの紙媒体を中心にするのが検討されております。冊子につきましては、当初の目標である小学校低学年の親を対象に考えております。学校を通じて配ることが有効であると考えておりますので、小学校で配ることのできるような組み立てを意識して進めていきたいと考えております。

冊子内容のイメージなのですが、こちらはまだ審議の途中ではありますが、まず2点を挙げております。麻生区につきましては、まず麻生区の成り立ちを知ることと愛着を持ってほしいということで、麻生区の成り立ちについて、「自然と農」、「芸術・文化」、「市民活動」にかかわるものを掲載し、麻生区が誕生する前後あたりの時期からの経過、変遷をわかっていたいただきたいと思ひておりまして、そちらを掲載していきたいと考えております。

2番目としては、これがメインですけれども、魅力の紹介ということで、親子と一緒に体感・体験・参加できるものを載せていくのですが、1つ1つ事細かに載せるのではなくて、情報発信元の各団体に届くようなところまでを意識して作ってきたいと考えております。そのところに重きを置いていきたいという話し合いが進んでおります。

発信場所については、先ほども申し上げましたように、小学校を中心に配布するというので、家に帰ってから親子でともに見て、こんなのいいね、こういうところに行ってみたいね、じゃあ、一緒に行こうかと、そこから調べるといふ行動に移れるような内容を考えております。そして、公共機関においても、こちらに置かれている情

報は大変信頼度が高いというヒアリング結果でしたので、区役所など公共施設には魅力コーナーを設置していただいてはどうかということを提案しております。

その他の発信の手法についてですけれども、ヒアリング結果の中ではホームページやSNSを挙げられた方も、少ないとはいえ、それでも3分の1の方々がそういったSNSを使用してというふうにお答えになっていらっしゃることから、私どもが発信する紙媒体に加えて、同様の内容をSNSなども活用して発信していくことを考えております。

そして、一番肝心な発信主体についてですが、こちらはまだ検討段階でして、内容的には柔軟に取材活動ができることが重要ということで、市民主体もしくは市民と行政の協働の組織を提案していきたいと考えております。

以上、審議結果のご報告です。

植木委員長 ありがとうございます。

これにつきまして、委員の方からご質問なりアドバイスなどがございましたらお願いしたいと思います。

関根委員 今ご説明いただきました、子育てフェスタの場所を利用しての発信方法、それと発信場所は、我々絆づくり部会にも共有する部分が多分にありまして、大変参考になりました。

もう1つ、一番気になったところは、情報の発信場所についてのアンケートで、幼稚園、保育園、学校という回答の数が非常に多いと感じました。やはり我々も子育て世代を主たる対象にしておりますので、子どもさんがいるということで、子どもさんが持ってきた、あるいは子どもさんがおられる場所からの情報というのは親が非常に関心を持って見ると。むしろ、一般的に自治会等で配られる広報の場合は、意外と見過ごされるという傾向がある。そういう面では、このアンケートの評価としては参考になる部分が多分にありました。

以上です。

植木委員長 ありがとうございます。それ以外にございますか。

それでは、私が質問していいかわからないのですけれども、ヒアリングのときの年齢層というのは大体どれくらいなんですか。

橋本委員 30代から40代です。

林副委員長 ヒアリングは、来場されている子育て世代の親子の皆さんということですので、どちらかという保育関係の方が多く、これから小学校に上がられるお子さんをお持ちの方が多かったです。

植木委員長 「紙媒体での情報発信を選んだ人の方が圧倒的に多かった」ということは、逆に言うと、その年代においてもやっぱり紙媒体のほうが圧倒的に多かったと理解していいということですかね。

林副委員長　そういうことです。ヒアリングの結果からはそのように出ております。

植木委員長　SNSが3分の1あるということだと、「圧倒的」という表現はちょっときつような気がいたしますけれども、SNSや何かがいいということが実数的には3分の1ということですよ。

林副委員長　数字の上からはそういうふうになっておりますけれども、紙媒体の方はその2倍から3倍になっておりますので、2倍、3倍が圧倒的かどうか、それは言い方の違い……。

植木委員長　というのは、私が現時点で感じているのは、今の若いママさんたちは、かなりSNSとかホームページとかの方にシフトしているような気がしたので、個人的にそこら辺のことを確認したいということでございます。

あと、発信主体というのは、やっぱりこれからのキーポイントだと思うんですよ。冊子の内容のイメージ等々は非常に理解できるし、こんなものができればすばらしいなと思っておりますけれども、この発信主体についての議論というのは、これからどういう方向で進めていかれるのか、そこら辺をちょっとお聞きしたいのですけれども。

林副委員長　前回、直近にありました部会の中でもその議論は少しだけ触れることができたのですが、その中で話し合われたのは、市民が入ることが重要だよということ、その点の確認にとどまっております。今後、行政との協働というところで学校で配らせていただきたいということがありますので、いいものをつくる、市民主体のものをつくるけれども、やはり協働で進めることで学校で配れるようなものを作成していきたいという方向性を持って考えていきたいと思っております。

植木委員長　提案のここの部分が肝だと思うのです。こういう内容のものをこういった形でつくりたいという形の提案にぜひ固めていただくように、これは委員長としてお願いをしたいと思います。

私の質問は以上です。ほかの委員の方はよろしいですか。

松田（基）委員　今の委員長の質問にプラスさせていただくのですが、SNSについて、今はもう若い方は皆さんそちらにシフトしているのではないかとということがあった上でこういった調査をさせていただいて、やはり紙媒体も必要だという結果になったということなのです。SNSとかでの情報の方へ重きを置く方向に流れているのではないかと、今、世間的にもそういうふうに使われているのですけれども、実際は手にとって見るもののほうが安心できるということと、あと、子育て世代の人たちも子どもを見ながらということになると、空いた時間にぱっと見るものということで、やはり紙媒体が安心されるので、それについて排除するのではなく、紙媒体も重要なツールということで、情報が消えてなくなってしまうものよりは確かではないかというのがアンケートの結果から判った次第です。

植木委員長 今、メディアミックスといって紙媒体とパソコンを使ったような情報発信というのは1つのキーワードになっていると思いますので、ぜひその両方を含めた形で情報発信を考えていただければということでございます。貴重な意見をありがとうございます。ありがとうございました。

それでは、麻生区の魅力発掘・発信検討部会の内容につきまして、この方向性で審議を進めていくということによいでしょうか。よいということであれば、拍手をしていただければと思います。

[拍手]

植木委員長 それでは、とりあえず課題を持ったまま進めていただけたと思いますけれども、1つ肝の部分をしっかり検討していただいて、具体的な提言という形にまとめていただければと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

イ 市民活動・絆づくり部会の検討経過及び意見交換について

植木委員長 それでは、次の議事でございます市民活動・絆づくり部会の検討経過及び意見交換についてに入りたいと思ひます。鈴木部会長、お願ひ申し上げます。

鈴木（隆）委員 市民活動・絆づくり部会の鈴木でございます。市民活動・絆づくり部会の調査審議状況についてご報告いたします。

まず1のこれまでの経過と今後の進め方でございますが、これは何度もご説明している部分でございます。これまで本部会では「活動参加による仲間づくり・絆づくり・地域づくり」を審議テーマとして、担い手づくりのサイクルの具現化を目指し、審議をしてまいりました。ただ、この2年間の任期中にサイクルを回すことは時間的に困難であると考えて、まずはサイクルに乗せるためのきっかけとなる機会をどのように行うか検討してまいりました。

その結果、キックオフイベント、地域活動を知る、つなぐ、楽しむためのイベントの開催を行い、その検証結果をもとに提言を行っていくことで意見がまとまりました。それに至る経緯については、(2)の検討のプロセスで説明させていただきます。

まず本部会では、本部会の目的について確認いたしました。目的としましては、先ほどご説明したように、サイクルをつくること、また、次世代、若い世代、子育て世代の人たちに興味・関心を持ってもらい、参加につなげることとなっております。次に、目的を達成するためにどのような内容が考えられるかというところで、市民活動に興味・関心を持ってもらうために、知る、触れる機会、つまり、イベントを実施することが有効であるという考えに至りました。そして、現在、イベントの開催を進めておきまして、イベントに参加した人たちに興味・関心を持ってもらい、活動に参加したいと思ってもらえるようなプログラムを検討しているところでございます。今後はイベントを開催して、その中でアンケート調査を行って分析し、検証して提言をす

るという流れになっております。

検証内容につきましては、2の検証内容に記載されています5つのおりとなっておりますので、読み上げます。①地域に関心や目を向けることができたか、②麻生区で活動する団体と活動内容を知ることができたか、③活動を身近に感じることができたか、④活動に興味・関心を持つことができたか、⑤活動に参加したいと思ったか、この5つを検証内容としましてキックオフイベントを開催することになります。

次に、3のキックオフイベントについてでございます。現在、審議を行いまして、決まっていることをご報告させていただきます。まず、このキックオフイベントは、区民会議フォーラムとして開催させていただきたいと思っております。

次に、(1)キックオフイベントのテーマでございますが、「麻生区の地域活動を知ろう・つながろう・楽しもう」にさせていただきたいと思っております。麻生区の地域活動を知ってもらい、身近に感じ、興味を持ってもらい、地域活動の参加につながるイベントにしたいという思いから、このようなテーマにさせていただきました。

次に、「知ろう」、「つながろう」、「楽しもう」というそれぞれの具体的な達成目標について検討しております。まず、「知ろう」につきましては、麻生区には特徴的な活動があること、すごい活動がたくさんあることを知ってもらう、自分の趣味や特技が地域貢献・社会貢献につながることを知ってもらうというのが達成目標です。

「つながろう」につきましては、イベントに参加した人と団体がつながる、イベントに参加した人同士がつながる、自分のこれまで経験したことが社会貢献・地域貢献につながることを体感してもらうというのが達成目標です。

「楽しもう」は、「知ろう」、「つながろう」を通じて、楽しんでもらうというのを達成目標として設定しております。

(2)イベントの対象としましては、区民全世代を対象にするわけですが、麻生区の小学校低学年以下の子育て世代の方たちを中心に来ていただけるようなプログラム設定で行いたいと思っております。

(3)の日時・会場につきましては、もう出ておまして、平成30年2月3日土曜日、1時から4時となっております。また、会場につきましては、麻生区役所4階会議室ということで、このエリアで行うことを予定しております。

(4)のイベントプログラムでございますが、プログラム概要は、麻生区で活動する団体のブースをつくり、そこで体験型の催しを行う体験ブースの部と、各団体の活動発表、プレゼンテーションを行うステージの部とエリアを分けて行います。また、その他で情報提供コーナーを設置したり、イベントが盛り上がる催しを実施したいと考えております。

既に6団体に参加の依頼をさせていただいておりますが、これにつきましては、イメージしている条件に合う団体を各委員が出し合いまして、依頼をしております。そ

の条件が、②の団体の参加についての下のところに4つの白丸が書かれていますが、麻生区の特徴的な団体であるか、自分の趣味や特技が地域貢献につながることを知らせてもらえる団体か、イベントに参加した人と団体がつながる、イベントに参加した人同士がつながることができる団体か、イベント参加者に団体に入ってほしいと熱心に訴えかけられる団体かという条件に当てはまるものを選定させていただいて、今6団体が上がっていて、依頼を開始している状況でございます。今後、イベント開催における具体的な内容について議論をしてまいりたいと思っております。

市民活動・絆づくり部会からの報告は以上でございます。

植木委員長 ありがとうございます。

それでは、今の説明につきまして、質問事項なりアドバイスなりいただければと思いますが、いかがでございましょうか。

高倉委員 区民会議フォーラムとしてキックオフイベントをやっていただくということで、区民会議委員全体として盛り上げていきたいと思っておりますし、非常に興味があるところでございます。

まだ1つだけ気になるというか、具体的な検討はこれからと最後の言葉があったのですけれども、やはりその参加者はたくさん来ていただかないと、この検証につながっていかないかなと思います。当然チラシ等で広報するのでしょうけれども、2月3日土曜日の午後、何かイベントの目玉みたいなものがないとたくさんの方に来ていただけない、来ていただけないと有効な検証につながらないのではないかと思いますので、現時点でお考えのところがあればお聞かせ願いたいと思います。

鈴木（隆）委員 現時点で部会の中でも、たくさんの方に来ていただけるような、要はステージオンリーの、ステージを盛り上げていただけるような団体さんに声をかけようという形で、目玉的なイベントも視野に入れて調整をしようという意見も出ておりますので、今後、話し合いの中で、目玉というか、ステージを中心に盛り上げていただける団体さんの選定についても検討していくことになると思います。

高倉委員 それは、先ほどお話にあった6団体以外にどこか目玉的な団体を呼んでみたいということで解釈してよろしいですか。

鈴木（隆）委員 はい。

高倉委員 わかりました。ありがとうございました。

植木委員長 その件につきましては、実は先日、やまゆりDAYというのをやったのですけれども、大分人が来ていただきました。ここにおります海崎委員が大変ノウハウをお持ちでございますので、彼に頑張ってもらって盛り上げを図っていききたいと思っております。

海崎委員、何かございますか。

海崎委員 やまゆりDAYは、トータル450名ではないかなと思ったのですけれども、

エルミロードの1階吹き抜けで場所がいいのですが、エルミさんの希望に合わせて子どもさんを主体というか、子どもさん向けも入れてよという話があったので、おじいさんのドジョウすくいもありましたけれども、体験ブースは子どもさん主体に、いろいろなおもちゃをつくったり、ドングリで物をつくったりとか、千代紙とかをやりつつ、ステージではゆりがおか児童合唱団30名ぐらいの合唱、これが目玉なのですけれども、あとコーラスとかをやったのです。両方やるというのは非常にいいなど。体験しながら聞けるというのもありますからね。ですから、私が今思っているのは、偉い先生を呼んできて講演させるのではなくて、例えば体験ブースをやっている方の活動の報告とか、ここに書いてあるけれども、情報提供というのか、子ども会でしたか、そういうところの情報提供コーナーをつくったりということがいいのではないかと考えています。

ただし、ここは中でやりますから、はっきり言って場所がよくないですよ。相当頑張らないと集まらないと思っています。先ほどの魅力発掘・発信検討部会のほうで、SNSもありますけれども、私が気になったのは信用。信用ある場所でもらうというのがやっぱりいいのではないかという感じもします。SNSは、どちらかという、ちょっとお遊び的な雰囲気があるのです。学校でもらったとか、区役所でもらったとか、図書館でもらったとか、信用ある場所でもらうと。そう考えると、やまゆりというのはだめなのかな。冗談ですけども、それはやっぱり重要だと思いますので、このイベントを周知するために、チラシをつくってどこに配るかというのは非常に重要だと思います。そんなことを感想として考えました。

植木委員長 的確なフォローをありがとうございました。ひとつよろしくお願ひしたいと思ひます。

それと、子ども関連については、この絆づくり部会以外に魅力発掘・発信検討部会の方も子どもに関連している団体は数多くあると思ひますので、ひとつそこら辺のご紹介もお願いをして、高倉委員が話しておりましたように、区民会議のフォーラムとして実施するということですので、ぜひそこら辺のご協力もお願い申し上げたいと思ひます。

橋本委員、何かご意見ありそうですが。

橋本委員 団体参加について鈴木部会長がお示しになっている白丸の4条件を加味して6団体を選ぶと。例えばどんな団体を予想しているのかなど。今、隣同士で、私のところにも来ないわよ、うちも来ないわよなんて冗談を言いながら、要は、この4つの白丸を加味すれば、考えればよろしいのではないですかというような回答かもしれないけれども、例えばというのがあるとよろしいのではないですか。お示しいただけますか。

鈴木(隆)委員 まず、この4点もそうなのですから、本部会のテーマとすること、目的とすることも念頭に置いて、さらに、この4つの条件のどれかを満たすというよ

うなイメージがあります。また、今回、部会の委員の皆様から事前に募集をさせていただいて、意見を出していただいた中から選定しております。今、候補として挙がっているのが6団体あるのですけれども、ふらっと新百合ヶ丘様、おもちゃと遊びの会様、AFIC囲碁の会様、子ども会連合会様、こども文化センター様、あさお運動普及推進員の会様などが挙がっている状況です。ただ、まだこの数を増やすとか検討の余地はあるかとは思いますが、今後、これ以上増やしていくことについては検討していきたいなと思っております。

橋本委員 今の説明で大体わかりました。やっぱり子どもたちは低学年の子どもたちですから、ここで検討しているのは、直接体験、実体験をする中で麻生区を理解したり魅力を感じたりということがキーワードになっているわけですから、そういった部分の団体さんの選び方はいいかなと思えました。有名人をいっぱい呼んできてというよりも、先ほど海崎委員もおっしゃったように、体験型で、そして人がかかわっていくということを大事にしていくことが市民参加型の大事なキーポイントではないかなと思っておりますので、頑張ってください。——頑張ってくださいなんて人ごとみたいに言うてはいけないわね。

植木委員長 橋本委員がもっと知恵を出さなければ。

関根委員 ちょっとつけ加えさせていただきます。まだ決定ではないのですが、各委員はそれぞれの団体と調整をして、そして我々の趣旨、意図をしっかりと酌んでいただいた上で、こちらから正規にご案内文書を差し上げることになっております。この中身については、それぞれの団体の魅力、個性が出ると思うので、今我々がこういうことをやってくれ、ああいうことをやってくれというような方法で調整しているわけではありませんので、結果、ご期待をお願いいたします。

以上です。

橋本委員 理解しました。大丈夫です。

鈴木（隆）委員 各団体が行っていただく体験につきましても、これから個別にこちらの趣旨を理解していただいた上で、こういう内容で体験できますかというような感じで個別に相談していくことになると思います。

以上です。

海崎委員 体験だけではだめなのです。体験して、おもしろいので、それをやっている団体さんに入りたいなとか、そう思わせることが大事であって、ですから体験だけはさせません。体験して、そういう雰囲気につながるようにすることがポイントだと思うのです。

石井委員 今までと随分違ったやり方をなさるのだなと思って頑張ってくださいませというところなのですけれども、その団体さんが活動の体験ブースもなさり、活動発表、プレゼンテーションもするというふうに……。

海崎委員 まだ決めていません。そういうやり方もあるよという。考えているという。

石井委員 なるほどね。わかりました。何か楽しみですね。

私どもは幸いにと申しませうか、今回初めて里山フォーラムの諸団体さんが、区役所のロビーを借りて展示もできることになりまして、1日1回とか、市民館のところだけの展示だったのですけれども、区役所の方でも展示していいよということでございましたので、1月31日、2月1日ぐらいからは各団体の展示もできるところで——ちょっと足りないので、できるところでやらさせていただきますので、そちらの方も楽しみいただければと存じます。よろしくお願いいたします。

植木委員長 温かいアドバイスをありがとうございました。鈴木部会長も感動しているのではないかと思いますけれども、まだこの絆づくり部会だけでとどまっているので、せっかくだから魅力発掘部会のほうにももう少しPRをして、いろいろ呼びかけていただければ、これだけ温かいお言葉をいただいているのですから、きっといいことが起こるような気がいたしますので、ぜひ橋本委員、よろしくお願いいたします。

他にご意見はございますか。それでは、温かい意見でいろいろ進めました市民活動・絆づくり部会の検討経過につきましてご承認をいただければと思いますので、拍手でひとつお願いしたいと思います。

〔 拍手 〕

植木委員長 ありがとうございます。それでは、この方向で進んでいただければと思います。

ウ 企画部会の検討経過報告及び意見交換について

植木委員長 それでは、次の議事の企画部会の検討経過報告及び意見交換につきまして、高倉部会長からお願いしたいと思います。

高倉委員 企画部会からは、区民会議の広報広聴活動の1つであります区民会議ニュースの発行についてご報告させていただきたいと思います。お手元の資料5になります。

今回は第6期第3号の発行になります。主な内容は、調査審議の経過報告ということでございまして、まず、表の方は、麻生区の魅力の発掘・発信検討部会が取り組みました子育てフェスタでのアンケート結果を掲載いたしました。詳しい内容につきましては、先ほど林部会長からお話があったとおりでございますので、省略させていただきます。ただ、この写真は、個人が特定されるのはまずいということで、全部後ろ姿ばかり写っていますけれども、結構盛り上がった雰囲気を出すということで、このような写真2枚を掲載しております。

次に、裏面でございます。市民活動・絆づくり部会の調査審議状況を区民会議フォーラムの開催を中心に掲載しております。これも先ほど鈴木部会長からお話があったとおりでございますので、詳しい内容は省略させていただきたいと思います。さら

に、下段のほうには区民の皆様から寄せられました区民会議へのご意見と、審議の参考にさせていただいておりますという旨を掲載いたしております。なお、これらのご意見は、前回の7月の全体会議で傍聴に来られた方からいただいたご意見でございます。

内容につきましては以上でございます。

発行日についてでございますけれども、表の一番上にあるとおり、11月16日に既に印刷が終了いたしております、発行いたしました。町内会等への発送も既に済ませておりますということでご理解願いたいと思います。

この後の発行予定でございますけれども、12月に区民会議ニュース第4号、この中身につきましては、先ほどお話がありました2月に開催予定の区民会議フォーラムの広報をするという内容で発行する予定としております。それから、最後になりますけれども、第6期として区民会議ニュースを第6号まで発行するという当初予定でございます。今お話ししました第4号を含めまして、年明けの2月か3月ごろに1回と、最後に提言が出てから1回ということで、合わせまして、予定どおり6回の発行を見込んでおります。

以上でございます。

植木委員長 ありがとうございます。今の高倉部会長の説明につきまして、補足事項などがございましたらお願いしたいのでございますが、もう立派にでき上がっておりますので、そういう形で進めていただければと思っております。企画部会におきましては、今後も区民会議ニュース、それから区民会議の広報を積極的にお願いたしたいと思っております。

(2) その他

植木委員長 それでは続きまして、議事(2)その他に入りたいと思います。事務局からの説明をお願いいたします。

事務局 それではまず、参考資料1の区民会議スケジュールについて確認をさせていただきます。

12月、1月につきましては、年末年始ということで定例の時期から各部会の活動日がずれている場合がございます。皆様のご都合によって新しい日程を決めさせていただいておりますので、ご確認をお願いいたします。

変更部分については以上でございます。

次に、参考資料2、区民会議委員意見交換会の開催についてでございますが、例年交流会として開催しております2月に、今回は区民会議の皆さんからの意見交換会という形で開催させていただきたいという話になっております。日程は2月2日の金曜日18時から20時半まで、場所は、例年のエポックなかはらでございます。内容と

しまして、ワークショップの中身については、まだ詳細は出てきていないのですけれども、これからのコミュニティのあり方の検討という形で開催をさせていただきたいと思っております。

また、それに先立ちまして、事前アンケートを、区民会議の皆様には1期から5期の方にもお願いしまして、その内容を当日のワークショップの中に盛り込んでいきたいと伺っております。参加者といたしましては、参加を希望する各区の第6期区民会議委員という形になっておりますが、少なくとも各区6名以上ぐらいはご参加いただきたいと伺っております。また、参加希望である方をお断りすることはないと伺っております。また具体的な参加の確認の案内が来ましたら、これについては個別の部会等でご案内させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

以上でございます。

植木委員長 ありがとうございます。ただいまのご説明につきまして、何かわからない点がございましたらお願いしたいと思っております。こういう機会に麻生区の区民会議委員の皆様も積極的に参加していただければと思っておりますので、よろしく願いしたいと思っております。

それでは、本日の議事は以上となりますが、事務局から何かございますか。

事務局 次回の確認をさせていただきます。第6回全体会議でございますが、2月20日火曜日の15時から開催させていただきますので、よろしく願いいたします。

植木委員長 ありがとうございます。

これで本日の議事は終了させていただきます。大変お寒い中、出席していただきましてありがとうございます。きょうは石川参与がいらしていたのですけれども、お帰りということですので、参与の方からはご意見をお聞きしないで終わりたいと思っております。

それでは、本日の審議を踏まえまして、北沢区長から最後に締めのお言葉をいただければと思っておりますので、よろしく願いいたします。

区長 本日は大変お忙しい中お集まりいただき、また活発なご議論をいただきまして、まことにありがとうございます。早いもので区民会議ニュースも3号が発行されました。本日も各部長から丁寧なご説明をいただきまして、各部会がそれぞれに真剣に内容を吟味、調査審議していただいている様子がわかりました。いよいよこれから肝の部分というか、肝心なところに皆さんの検討も向かっていくのかなと思っております。これまでもいろいろ部会の中でも協議されたことだろうと思っておりますけれども、皆さん方の今日の全体会に臨む姿勢を見させていただいても、本当に建設的に皆さんが協力して1つの方向に向かって審議していただいているのだなということがよくわかって、本当に誇らしく感じたところでございます。

1つ2つお願いというか、感じたことを言わせていただきますと、やはり魅力部会

の方では、発信主体が肝というようなお話でした。私も市民感覚ということが重要だと思います。ただ、発信する場所、信用が置けるところということでは、ぜひ行政も協働という立場で一緒になって進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

それから、絆づくり部会のほうですけれども、1つ、検証内容のところに「楽しめましたか」というのがあるといいのかなと思いました。まずそこがスタートなのではないかなと思ったので、もしそんな意向も踏まえていただけたらありがたいなと思います。そして、2月3日の区民会議フォーラムに大勢の皆さん、特に初めて市民活動に参加するような方々が大勢来ていただけると本当にうれしいなと思います。皆様方の御審議に期待をしつつ、できるところは協力してまいりますので、どうぞよろしくお願ひします。ありがとうございました。

植木委員長 ありがとうございました。大変貴重なアドバイスをいただきまして、ぜひそれを生かしたいなと思っております。

3 閉 会

植木委員長 それでは、これもちまして第5回全体会議を終了いたしたいと思います。

本日はありがとうございました。

午後3時53分閉会